

# 令和3年度事業報告

## 1. 事業の実施に係る事項

### 1) 富士山に残されている天然林を保全、活用する事業

《事業》植生保護柵の点検、周辺部の食害調査  
《目的》国有林に設置した植生保護柵の点検、修復、植生復元状況調査など  
《実施日》5/18・5/23・5/26・10/2・10/18・10/20・11/2・11/13  
《内容》破損等の点検  
周辺地域の食害状況の目視調査、写真撮影による記録

《事業》センサーカメラによる動物調査  
《目的》動物の生息調査およびニホンジカの活動を通年調査  
《実施日》5/18・5/26・10/20・11/13  
《内容》センサーカメラ設置・点検・電池/メモリ交換・回収

《事業》蜘蛛の生息調査  
《目的》植生保護柵の効果を検証  
《実施日》7/17・10/16  
《内容》調査者・日本蜘蛛学会. 久保田克哉氏 (他9名)  
旧須山口周辺に設置した植生保護柵内外の蜘蛛の生息状況を調査

### 2) 富士山の森林で過去に失われた生物多様性を復元し、水源涵養力を保全するための事業

《事業》国有林の富士山クラブ西白塚ウラジロモミ人工林の混交林化計画  
NPO法人富士山クラブと協働で実施  
《目的》人工林を天然林に復元するための実験  
《実施日》スカイライン土砂災害のため現地活動は行わず計画の全容を纏めた  
《内容》中間報告「ウラジロモミ人工林の混交林化計画 生物多様性の復元を目指す」作成

《事業》ブナのDNA調査  
《目的》前年のブナのDNA調査に続く天然ブナのDNA調査(片蓋山)  
《実施日》8/22  
《内容》片蓋山の天然ブナ10本のサンプルを採取し分析

### 2) 地域の環境教育に富士山の自然環境を活用する事業

《事業》御殿場市 富士山環境保全・教育推進事業  
《目的》環境教育のための富士山の自然環境調査  
《実施日》6/5・6/17・7/23・7/29・8/10・8/16・8/20・8/31・9/5・9/14・9/24・10/9  
10/10・11/6・11/27・12/13・3/26 (その他に佐藤氏独自で調査)  
《内容》御殿場市内の麓から宝永火口までの環境及び標高に沿った植物相調査

《事業》自然環境・森林学習  
《目的》自然環境・森林についての理解を深める  
《実施日》6/5・5/30・5/31  
《内容》5/30 会員を対象に植生保護柵の見学と森林学習を実施 (17名)  
5/31 腰切塚見学(12名)  
6/5 竈里山環境の植物相調査に同行学習

《事業》湧水調査  
《目的》季節と湧水の間係を調査  
《実施日》通年  
《内容》月ごとの湧水量と気温、水温を継続調査

《事業》富士山にかかる雲  
《目的》麓から見た富士山にかかる雲の季節変化を観察  
《実施日》通年  
《内容》御殿場市内標高500mの麓から午前7時に雲を観察記録

#### 4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

《事業》御殿場市 富士山環境保全・教育推進事業  
《目的》宝永火口から御殿場口火山高原の森林限界を記録  
《実施日》6/17・10/30  
《内容》ドローンにより宝永火口から御殿場口火山高原の森林限界を空撮

《事業》ナラ枯れ調査  
《目的》ナラ枯れの現状をドローンと現地踏査により調査  
《実施日》5/18・5/26・9/7・9/10・9/12  
《内容》踏査およびドローンによるカシノナガキクイムシの被害状況の調査  
(ドローン調査は須山口およびキリンディスティラリー社付近)

《事業》裾野市水ヶ塚の植生調査に協力  
《目的》水ヶ塚公園の植物相と外来植物を確認するための調査  
《実施日》7/29  
《内容》ふれあい広場の調査を実施

《事業》御殿場口フジアザミ分布調査  
《目的》御殿場口の植樹活動とフジアザミ減少の間係を調査  
《実施日》9/21  
《内容》現地の目視による下見(横浜国大研究者の提案による)

《事業》御殿場口の植物相調査  
《目的》コドラートの再設定  
《実施日》9/21  
《内容》雪代により埋没したNo.3, No.4のコドラートを再設定した

《事業》パネル展示・動画制作  
《目的》富士山の自然環境保全の啓発  
《実施日》6/8・10/31  
《内容》6/8 ecoまつりに参加(パネル展示)  
10/31 元気わくわくごてんばフェスタ2021に参加(映像)

《事業》冊子「富士山自然保護・環境教育活動の概要 2021年版」作成  
《内容》当会発足からの活動の概要を記録保存 ホームページで公開

## 2. 総括

富士山の森林はニホンジカの食害による樹木の立ち枯れ、林床植物の消失に加えてカシノナガキクイムシの大発生によりミズナラの大量枯死が発生し、より深刻な状況となっている。コロナ禍により計画どおりにできないこともあったが、状況を見ながら着実に進みたい。